

平成25年度ポジティブ・アクション助成事業実績報告書

実施団体	IFMSA-Japan SCORA（国際医学生連盟日本 性と生殖・AIDSに関する委員会）	
実施事業名	Peer Education Project	
団体代表者	鈴木悠	
事業の目的	ピアエデュケーションを通じて性に関する知識を共有することで、望まない妊娠、AIDSを含む性感染症、デートDVを防ぐための方法や、LGBTIQ（多様な性のあり方）についての理解を深めるきっかけを与える。	
事業の達成度	<p>各地域へのスタッフ派遣が可能となり、地域を越えたピアエデュケーションが実現した。昨年度と比較し地域活動が活発となり、ピアエデュケーションの対象数、並びにスタッフ数が増加した。</p> <p>地域・学校の意向によっては事業に関する事前・事後アンケートの実施を行えなかったこと、また地域毎で形式の異なったアンケートを用いたため全国規模での評価が困難であった。</p> <p>今後、学生の視点からアプローチしたピアエデュケーションの意義について考え、実施内容の充実を測ること、統一したフォーマットのアンケートを用いること、またアンケート実施に対する統計学的な評価が求められる。</p>	
事業実績	対象となった人数	2689人
	具体的な活動内容	<p>①ぬいぐるみ総会 SCORAコラボ企画 SCOPH（公衆衛生に関する委員会）に存在するぬいぐるみ病院プロジェクト（小児保健教育）とのコラボ企画。ピアエデュケーションを行う際に意識する対象のニーズについて、ぬいぐるみ病院の対象である小児について考えた。</p> <p>②World AIDS Day メッセージmovie作成 詳細（http://www.youtube.com/watch?v=tCZQp2NXcyA）</p> <p>③ピアエデュケーション全国各地13回</p> <p>④出張HIV検査相談会ミニ講座3回</p>